平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	325		
会計	一般会計				
事務事業名	美術博物館管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
		○	飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	美術博物館の施設（建物・設備・備品）と展覧会等の事業
	意図	適切に管理運営する。当館所蔵の収蔵品を適切に管理する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・建築以来30年を経過している施設設備の経年劣化等への対応を計画的に進めていく必要があります。 ・観覧料金体系や開館時間等について、時代や社会のニーズに適したものにしていく必要があります。 ・2018・2019年度に行う自然と文化展示室のリニューアルについて計画的に進めていく必要があります。

30年度取組

取組内容

美術博物館、柳田國男館、日夏耿之介記念館の設備、機械等について管理、修繕を行います。
観覧者や入館者の受付、観覧料等の収納等を行います。
展覧会が安全に開催できるよう管理を行います。
関連する組織に加盟し、研修や情報収集などを行います。
その他、館の運営に必要な庶務を行います。
自然と文化展示室のリニューアルに向けた改修を行います。

経費の内容	事業費(千円)
報酬・賃金	13,695
旅費	691
需用費	26,539
役務費	964
施設管理等委託料	23,704
使用料等	1,890
工事請負費	20,434
負担金等	133
公課費	46
その他の経費	20

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
修繕・工事等を行った建物・設備の数	か所	5	5		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	88,116
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	4,900
一般財源	83,216

特定財源内訳及び補足事項

（そ）美術博物館観覧料　4,200千円
（そ）美術博物館施設使用料　10千円
（そ）諸収入　690千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	10	1	88,116 / 0	美術博物館管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 325　事業名 美術博物館管理事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の表示(60cm×60cm)	○	
											防火管理者の選任／消防用設備の点検（１回／年）及び結果報告／避難訓練計画の届出及び訓練の実施（1・2回／年）／無停電電源装置の法定点検と報告（1回／年）		○	
												高圧ガス保安法第35条1項	○	
											電気事業法	自家用電気工作物（自家用発電設備）の保安規程に準じた点検（1回／年）／保安規程の作成・遵守／主任技術者の選任	○	

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・照明や空調機器等の電力消費による地球温暖化への影響がある。 ・石油類の流出による河川や土壌の汚染が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。	電気使用量の削減を 年間を通じて取り組み 対前年度比99％以内とする。	・冷房温度を１℃高く、暖房温度を１～２℃低く設定する。 ・不要照明の消灯を励行する。 ・学芸員室の老朽化した照明器具をｏＬＥＤ化する。 ・桜開花期の夜間開館を取りやめる。	・記録的な猛暑となり電気使用量は増加となってしまった。管理上やむをえない。 ・7～9月に遮光シートを屋上に2枚張りプラネタリウム待合に直射日光が差し込まないようにし、効果はあった。	×		

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	326		
事務事業名	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	伊那谷に存在する自然、人文、美術に関する事象や資料
	意図	調査、研究、整理し、活用できる状態にする

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・地域に根ざした魅力的な展覧会や教育普及など博物館活動を行っていくためには、事象や資料を地域資源化するための継続的な調査研究が必要です。また、資料を効果的に利活用するための整理とデータベース化も必要です。 ・菱田春草記念室の常設化に対応する収蔵作品や資料の増強と研究、整理が必要です。 ・収蔵資料の増加に伴い、収蔵保管スペースが不足しています。

30年度取組

取組内容

自然・人文・美術に関する調査研究を行い、その成果を展覧会や講座に活用します。また、研究成果は学会発表や学術雑誌、研究紀要、伊那谷自然史論集などで公表します。

調査研究および展示の充実のために必要な資料等の取得を、計画的に行います。また必要に応じて資料等の購入を行い、寄贈・寄託を受けます。

資料等を整理登録しデータベース化を進め、公開や閲覧に供します。

傷んだ資料の修復を行います。

経費の内容	事業費(千円)
専門研究員等賃金	6,683
自然調査研究費	1,522
人文調査研究費	1,713
美術調査研究費	1,273
図書整理公開費	767
自然史論集印刷	280
研究紀要印刷	540
霜月祭報告書増刷	1,282
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
研究発表数	件	12	24		
資料登録件数／美術資料作品登録点数	点	300	200		
資料修復点数	点	6	3		
図書室の開室日数	日	110	108		
人文資料登録点数	点		100		
自然資料登録点数	点		100		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	14,060
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	1,650
一般財源	12,410

特定財源内訳及び補足事項

（そ）諸収入　1,650千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	27	14,060 / 0	美術博物館資料調査研究・収集保管事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 326　事業名 美術博物館資料調査研究・収集保管事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	適正な使用と適切な管理	○	
自動車の運転	○			×		×								
物品管理事務（薬品の使用）			○	－	－	－	－	－	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・外出時の自動車利用による地球温暖化への影響がある。 ・コピー等紙の消費による資源消費への影響がある。	コピー用紙使用量の削減を年間を通して励行し対前年度比98％以内とする	・コピー量カウンターにより使用量を把握、評価し、削減を進める。 ・裏紙の利用や両面コピーを励行する。	コピー使用量の削減に努めた。裏紙を利用するようにしている	○		

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	327		
会計	一般会計				
事務事業名	美術博物館展示公開事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	飯田市民、下伊那郡住民、観光客　　伊那谷に関する自然・人文・美術に関するテーマ、芸術
	意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深める

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・開館以来の念願であった「菱田春草記念室の常設展示」を平成29年度に実現しました。一方、開館以来、更新されていない博物（自然・文化）の展示について、開館30周年となる2019年度のリニューアルオープンを目指し、取り組んでいく必要があります。 ・「伊那谷の自然と文化」を紹介し伝える企画展等を計画的に開催していく必要があります。

30年度取組

取組内容

菱田春草常設展示４～12期を開催します。
特別陳列として「没後140年原蓬山」「伊那谷Natureコレクション」「三遠南信の自然と文化」「開山1300年記念・風越山展」「世界人形劇フェスティバル記念・伊那谷の人形芝居と大森運夫」を開催します。
コレクション展示として「綿半野原の陶磁器2018・2019」「現代日本画１・２」「洋画」「藤本四八・須田剋太」を開催します。
第19回現代の創造展を開催します。
自然と文化展示室のリニューアルに向けた準備を進めるとともに、一部のコンテンツや展示ケースの製作などを行います。
柳田國男館・日夏耿之介記念館の展示を行います。

経費の内容	事業費(千円)
菱田春草常設展示	4,458
特別陳列「原蓬山」	513
コレクション展示他美術展示	1,889
伊那谷Natureコレクション展示	6,418
特別陳列「風越山」	1,156
特別陳列「三遠南信」	1,990
人文常設展示	1,610
柳田國男館展示	47
日夏耿之介記念館展示	185
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
展覧会の数（更新を含む）	本	17	23		
観覧者数	人	32,000	30,000		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	18,266
国庫支出金	4,210
県支出金	0
地方債	0
その他	500
一般財源	13,556

特定財源内訳及び補足事項

（国）社会資本整備総合交付金（市街地整備）（4.5／10）　4,210千円
（そ）諸収入　500千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	28	18,266 / 0	美術博物館展示公開事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 327　事業名 美術博物館展示公開事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	328		
事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	飯田下伊那圏域の市民
	意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館で学び合う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・教育普及事業の組立において、多様化する市民の学びの要求に応える工夫が求められています。 ・学校教育との更なる連携が求められています。 ・これまで「伊那谷の自然と文化」の研究の基盤を支えた地域の研究者・研究団体が世代交代の時期に入っており、次世代の育成が進んでいません。協働の場と機会を設けて取り組んでいく必要があります。

30年度取組

取組内容

総合的な教育普及活動として美博まつり、学芸祭を行います。
自然部門では、自然講座、子ども科学工作教室、地球探検隊、天文講座、化石標本室ワークショップ、自然史発表会、ジオパーク看板設置を行います。
人文部門では、文化講座、古文書講座を行います。
美術部門では、美術講座、春草講座、美術鑑賞の会、子ども美術学校、美術ワークショップを行います。
藤本四八氏を顕彰し、写真文化を広めるために、子ども写真教室、美博小中高校生写真賞の事業を行います。
市民ギャラリーの運営を行います。
伊那谷研究団体の活動への支援を行います。

経費の内容	事業費(千円)
専門研究員等賃金	2,324
自然部門教育普及	2,035
人文部門教育普及	359
美術部門教育普及	523
総合教育普及	1,572
研究費助成	450
その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
講座等開催数	回	93	105		
講座等参加者のべ人数	回	7,000	5,500		
美博まつり参加者数	人		2,000		
市民ギャラリー観覧者数	人		15,000		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費 計	7,263
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	2,300
一般財源	4,963

特定財源内訳及び補足事項

(そ) 過疎地域自立促進基金繰入金 1,500千円
(そ) 美術博物館施設使用料 340千円
(そ) 諸収入 460千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	7,263 / 0	美術博物館教育普及・活動事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 328　事業名 美術博物館教育普及・活動支援事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・環境に関する学習を行うことによって、環境保全等への意識が向上する。	自然や環境に関する学習会の参加者を 年度末までに 600人以上とする。	年間計画による講座等を実施する。	来館者数は例年並みに伸びている。	○		

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	329		
事務事業名	美術博物館プラネタリウム運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		博物館法	
			飯田市美術博物館条例	

事業目的		
	対象	飯田下伊那の住民
	意図	ふるさとの自然・文化・星空・景観のすばらしさを学び、地域を大切にする心を育む

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・デジタルプラネタリウム設置後7年が経過し、制御部分（コンピューター）が原因で投影に支障をきたしたり、新規格の映像が組み込めなかったりする事態が発生しています。機器更新計画を定めて対応していくことが必要です。 ・オリジナル番組の制作や新たな活用法の調査研究を継続し、今後の方針づくりに取り組んでいく必要があります。 ・地域の要請に応じて、天文宇宙教育等の取組を強化していく必要があります。

30年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
通常投影として、主に親子や子どもたちを対象にした天文番組や教育アニメ番組を投影します。また、平日は、主に園児・児童生徒を対象に情操・理科教育に適した番組を投影します。 特別投影として、時機や話題の天文現象を紹介する投影や展覧会に合わせたオリジナル番組の投影、ヒーリングプラネタリウム、プラネタリウムまつりを行います。 天文講座や観望会を行います。 地域や学校で行う観望会や宇宙教育を支援します。 ふるさとの自然や文化を題材にしたオリジナル番組として「南信州の花火（仮）」を制作し、発表会を行います。 今後のプラネタリウムの活用について検討を行います。	専門研究員等賃金	6,502
	一般番組制作（委託）	3,888
	オリジナル番組制作（委託・旅費など）	853
	チラシ・リーフレットなど（印刷）	637
	協議会や研修関係（旅費）	188
	機器の保守管理費	562
	著作権料・事務・管理費・消耗品費	779
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
プラネタリウム観覧者数	人	17,000	13,000		
プラネタリウム投影回数	回	1,000	800		
ドームイベント回数	回	10	10		
オリジナル番組制作数	本	1	1		
天文宇宙教育回数	回	10	10		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	13,409	（国）社会資本整備総合交付金（市街地整備）（4.5／10）　2,090千円 （そ）美術博物館観覧料　1,100千円
国庫支出金	2,090	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	1,100	
一般財源	10,219	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	13,409 / 0	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 329　事業名 美術博物館プラネタリウム運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	330		
事務事業名	考古博物館管理運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画		3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画	○		第２次飯田市教育振興基本計画
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン
	法令・例規等			博物館法
				飯田市美術博物館条例

事業目的		
	対象	①上郷考古博物館　秀水美人画美術館及び収蔵資料、作品　②飯田下伊那広域圏の地域住民
	意図	①施設、収蔵資料・作品の維持管理を行う　②展示、ワークショップ等を行うことで研究成果を公表する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・「飯田市公共施設マネージメント基本方針」に基づき、考古資料館との統合などの検討を進める必要があります。 ・平成29年度から30年度末にかけて、上郷自治振興センター・同公民館の改築に伴い、臨時事務所が併設されます。 ・併設の「秀水美人画美術館」のあり方を検討していく必要があります。

30年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
上郷考古博物館及び秀水美人画美術館の運営と維持管理を行います。 展示公開事業として、常設展示の充実と展示替えを行います。 普及公開事業として、各種ワークショップや講演会、見学会などを行います。また、学校及び各種団体の学習を支援します。 調査研究活動を行います。	臨時職員賃金	4,263
	施設維持管理、運営費	6,775
	常設展示費	151
	教育普及活動・支援活動費	152
	調査研究・収集保管活動費	482
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
常設展示の開催	日	291	294		
展示事業	回	1	1		
ワークショップの開催	回	10	10		
学校・地域・各種団体支援事業	回	50	50		
秀水美人画美術館展示替え	回	4	4		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	11,823	（そ）考古博物館観覧料　140千円
国庫支出金	0	（そ）考古博物館施設使用料　10千円
県支出金	0	（そ）考古博物館講座受講者負担金　125千円
地方債	0	（そ）諸収入　102千円
その他	377	
一般財源	11,446	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	12	1	11,823 / 0	考古博物館管理運営事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 330　事業名 考古博物館管理運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	－	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の表示(60cm×60cm)	○	
											防火管理者の選任／消防用設備の点検（１回／年）及び結果報告／避難訓練計画の届出及び訓練の実施（1・2回／年）／無停電電源装置の法定点検と報告（1回／年）地下タ		○	

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・電気や燃料の消費による地球温暖化への影響が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。	電気使用量の削減を 年間を通じて励行し 対前年度比100％未満とする。	・冷暖房温度の設定を維持管理数値より高低する。 ・照明等機器類の節電を励行する。	・記録的な猛暑となり電気使用量は増加となってしまった。管理上やむをえない。	×		

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	331		
会計	一般会計				
事務事業名	上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H9	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		地方自治法	
		○	飯田市上村山村文化資源保存伝習施設条例	

事業目的		
	対象	上村山村文化資源保存伝習施設（まつり伝承館天伯）・ねぎや・民俗資料館
	意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示及び保存を行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・指定管理者による管理を行っていますが、入館者数が減少傾向にあります。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	上村地区に伝わる遠山霜月祭の用具や山林作業の道具、山村生活の様子等を展示紹介します。 指定管理者「(株)上村振興公社」による管理運営を行います。	保険料（建物共済）	30
		施設管理運営業務委託料	2,069
		借地料	49
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	展示月数	月	12	12		
	観覧者数	人	1,200	1,200		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,148	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,148	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	13	1	2,148 / 0	上村山村文化資源保存伝習施設費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 331　事業名 上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・電気や燃料の消費による地球温暖化への影響が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。						

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	54	事業No.	332		
事務事業名	南信濃民芸等関係施設管理運営事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	美術博物館	開始	H2	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		第2次飯田市教育振興基本計画	
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
	法令・例規等		地方自治法	
		○	飯田市南信濃民芸等関係施設条例	

事業目的		
	対象	南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）
	意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示及び保存を行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・指定管理者による管理を行っていますが、入館者数が減少傾向にあります。 ・約30年を経過する施設のため、老朽化による修繕等の対応が増えています。

30年度取組

取組内容

南信濃地区に伝わる遠山霜月祭の用具や遠山郷の歴史文化等を展示紹介します。

指定管理者「（一財）飯田市南信濃振興公社」による管理運営を行います。

緊急度の高い個所の雨漏り対策工事を行います。

経費の内容	事業費(千円)
保険料(建物共済)	23
施設管理運営業務委託料	2,301
借地料	436
屋根改修工事費修繕料	7,639
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
展示月数	月	12	12		
観覧者数	人	3,800	3,800		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	10,399	（県）市町村合併特例交付金　7,600千円
国庫支出金	0	
県支出金	7,600	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	2,799	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	14	1	10,399 / 0	南信濃民芸等関係施設費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 332　事業名 南信濃民芸等関係施設管理運営事業　　美術博物館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・電気や燃料の消費による地球温暖化への影響が懸念される。 ・火災の発生に伴う様々なリスクが懸念される。						